

一般社団法人 日本物理学会  
2015 年事業報告  
(2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

## 目次

\*\*\*\*\*

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 事業概要               |                  |
| 2. 各事業詳細資料            | (附属明細 1) 処務詳細資料  |
| 2-1. 学術講演会の開催・後援等     | ・総会・役員会等に関する事項   |
| 2-2. 国際交流・協力活動        | ・契約・入札・他に関する事項   |
| 2-3. 物理学に関する普及・啓発活動   | (附属明細 2) 会員の異動状況 |
| 2-4. 本会の目的達成のために重要な活動 | (附属明細 3) 事務局の現況  |
| 2-5. 刊行物（実施事業を含む）     |                  |

\*\*\*\*\*

## 1. 事業概要

主な活動内容は

- 1) 会長任期 2 年制への移行に伴う学会活動の安定運営を図る
- 2) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備
- 3) 会員サービスの向上のための新しいデータベース（会員システム）の整備
- 4) 日本物理学会誌の充実
- 5) 英文誌刊行事業の整備
- 6) 大会のあり方についての検討
- 7) 支部活動の活性化と支援
- 8) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携
- 9) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報
- 10) 他学協会・団体との連携の強化
- 11) 国際的活動体制の強化
- 12) その他

である。以下にそれぞれを概観する。

## 1) 会長任期 2 年制への移行に伴う学会活動の安定運営を図る

本事業年度 4 月からの第 71 期より会長任期 2 年制度がスタートし、その 1 年目の副会長を初めて理事会が選出した。その際、会長の専門分野（物性）と異なる分野（素核宇）の副会長を選出した。また、新規理事に女性 2 名が就任するとともに、各種委員会委員の男女比、所属機関、専門分野の適切なバランスを図り、学会活動の活性化を図ることに注力した。会長 2 年目の第 72 期に向けてさらに同様の努力を払う。

第 72 期副会長（第 73・74 期会長予定者）の選挙を開始し、本年度中に代議員による候補者選出が滞りなく進行し、次年度早々（2016 年 2 月）に会員選挙により最終候補者が決定し、第 96 回定時総会（2016 年 3 月 31 日）に付議される予定である。

## 2) 学会活動を支える組織・財政基盤の整備

前事業年度より、本会財政の健全化に向けて 2016 年からの年会費一律 1,000 円の値上げを会員に丁寧に説明してきたが、第 95 回定時総会（2015 年 3 月 31 日）でその値上げが承認された。また、大会参加登録費についても、講演概要集の Web 化による会員の利便性の向上を図るために一律 1,000 円の値上げを行った。これら一連の措置により、会員へのサービス向上と活発な学会活動を支える財政基盤が整備されつつある。

会員数は、年間約 100 名程度（主に院生以外の一般会員）の漸減が続いているが、長期会員について

は退会ではなく、シニア会員への種別変更を積極的にお願している。一方、大学院修了後に退会する会員を主たる対象とした会友（仮称）や、Jr. セッション参加者や物理チャレンジ参加者等を対象とするジュニア会友（仮称）等の制度導入について鋭意検討を重ねている。

事務局職員については、定年（63 歳）後再雇用制度に伴う適切な給与について審議し決定した。また、職員昇格や採用に伴う関連委員会と手続きの整備を行った。

### 3) 会員サービスの向上のための新しいデータベース（会員システム）の整備

会員管理業務の効率化と、会員サービスの向上を目的に、会員システムの構築を行っている。前年度までに、事務局での会員管理業務フローを整理し、IT 機能として要求される事項を確定させてきた。今年度は、システムソフトウェア業者向けに、RFP (request for proposal) を作成し、入札を経て発注業者の決定を行った。その後、4 月より業者との詳細な打ち合わせを行い、会員システム開発は順調に進んでいる。2016 年 3 月末を目途にシステム導入し、2016 年 4 月からの本格稼働を目指す。

### 4) 日本物理学会誌の充実

分野が細分化しすぎると生産性がなくなるので、できるだけ分野横断的な視点で特集を組んで統合的な物理を目指した。例えば、「物理学 70 の不思議」（本会創立記念）を企画した。物理学の各分野の最先端と課題を紹介する企画で、長期的視野に立った問題や挑戦を集めた。執筆は原則編集委員。さらなる発展として、この「物理学 70 の未解決問題」で収集した重要な物理をつなぐ形で、特集を企画している。

その他特集としては以下のものがある：

- ・一般相対論特集：（2 月号） 1915 年に完成した一般相対論の 100 年記念特集。一般相対論ミニマムの記事を含め、多くの分野の人の興味を引くようにした。
- ・「X 線・粒子線回折による構造解析」の小特集： 9 月号では、X 線回折、中性子線回折、反射高速電子回折（RHEED）および全反射陽電子回折（RHEPD）、生体物質の構造解析を取り上げた。
- ・シリーズ「国際光年 IYL2015 に寄せて」：8 月号から始め、レーザー、励起子（エキシトン）、光合成などの記事とともに、12 月号では 望遠鏡の話の親しみやすい記事を用意した。

親しみやすい物理を徹底するため、「身近な物理のシリーズ」を充実させた。たとえば、「マガンの群れの集団動力学（9 月号）」、「カエルのうたに耳をすませば（10 月号）」、「超音波洗浄とそのルミネッセンス（12 月号）」など。

最後に、編集委員会の構成については、各記事提案に対して、他分野からの議論を徹底するようにした。また、ディスカッションの時間を取って、分野横断的なテーマに対するブレイクストーミングや特集の議論などを始めた。さらに、支部委員、新著紹介小委員会委員を取り込んで、記事の提案や議論に参加してもらうための技術的な準備を行った。

### 5) 英文誌刊行事業の整備

2013 年に本格スタートした PTEP については優れた論文が多数掲載されるように PTEP 編集委員会および PTEP 企画委員会と共に努力を続けた。また機関支援の働きかけをより一層強化した。その結果、新たに 3 機関が支援機関に加わった。これと並行して、2015 年度分の交付が決定された科研費（オープンアクセス刊行支援）を有効活用し、PTEP の国際的認知度向上を計った。

JPSJ については、2013 年に導入したプラットフォーム Atypion Literatum 上でのオンラインサービスをさらに充実させた。また、事業の財政状況について引き続き注視し、2015 年度の事業収支はほぼ均衡した。紙媒体をなくすこと、オープンアクセスに移行することなど、今後の方針について検討を続けるため JPSJ 将来計画検討 WG の設置を決めた。

さらに、物理学分野の国際会議のプロシーディングスを日本から出版するため、2014 年にスタートした新雑誌“JPS Conference Proceedings”の刊行を充実させ、2015 年度は 5 冊を刊行した（初年度の 2014 年度は 3 冊）。JPSJ, JPS Conference Proceedings は 2014 年から交付された科研費（国際情報発信強化）を有効利用し、両雑誌の国際競争力を高める事業を行った。

## 6) 大会のあり方についての検討

第 70 回年次大会 (2015 年) より、大会参加登録費参加費の値上げと概要集の電子化を実施した。値上げについては大きな混乱もなく、円滑に移行できたものの概要集電子化については会員から改善要望があがった。Web アクセスについては、概要のダウンロード方法の改善を行うなど、利便性の向上を図った。DVD 資料配布については事前送付の要望があったものの、参加費や原稿締め切り時期との関係があり、今後も継続して検討していくこととした。

学部学生の発表の機会を増やすため、学部学生向けポスターセッションの新設提案があり、第 71 回年次大会にパイロット事業として核物理領域に限ったポスターセッションを実施することとなった。

各領域での活動を支援する方法を模索するため、各領域での若手奨励賞選考方法、メールサーバーの運用体制、ポスター賞・学生賞などの実態調査を行った。

この他、領域運営委員連絡責任者を定めるなどして合同シンポジウムの日程調整を円滑に行えるような仕組みを導入した。

本会名誉会員である南部陽一郎先生の訃報を 7 月に受けて、理事会では大阪市立大学における秋季大会(素核宇宙ビーム) で南部陽一郎先生追悼特別セッションを行うことを決めた。大阪市立大学の実行委員会の協力を得て、9 月 26 日(土) 昼に江口徹氏が「南部先生の思い出」と題する講演を行った。

聴衆は約 400 名であった。

## 7) 支部活動の活性化と支援

支部活動の活性化のために 2014 年より支部長会議を年 2 回開催することとしたが、今年度も年 2 回の支部長会議、及び物理学学会秋の分科会(物性会場)において支部長懇談会を開催し、役員名簿、活動報告、次年度の企画予算などの確認を行った。また、各支部が所属する支部会員へ同報メールを送るシステムが 2014 年に整備されたが、運用する支部が徐々に増加している。支部間の横の連絡を充実させるために整備した支部役員宛の一斉メールの運用等も定着してきた。これらの施策がほぼ定着しており、今年度は大きな問題点は見受けられなかったため、次年度の支部長会議は年 1 回(春)の開催とすることとした。

## 8) 物理学関連の教育、人材活用・支援を通じた社会連携

科研費配分状況調査を行い、大規模国公立大学と独立行政法人・全国共同利用研究機関等に研究費が集中していることを、委員会便り「科研費(基盤研究 S, A, B, C)配分状況調査報告」として日本物理学会誌 70 号(2015)に掲載した。

2022 年に国際物理オリンピックが日本で開催されることを受けて、物理オリンピック日本委員会(JPhO)から日本物理学会あてに理事の推薦依頼があり、日本物理学会の理事 1 名(物理教育委員長)が JPhO の理事を兼務する体制とした。今年度から、JPhO との連携協力を更に密に取っている。JPhO は、オリンピック事業の他にも、全国の物理好きな中高生を対象としたコンテスト形式の物理チャレンジを行っている。これは、国際物理オリンピックの国内予選を兼ねているものである。本会も次世代人材育成の一つとして、物理チャレンジ事業にも協力した。

Jr. セッションを一層充実させ、特に幅広い中高生の参加を促した。その目的のためにも、中高の理科教員への会費減額などのサービスの検討を続けている。あわせて、サポーター的制度を設け物理志望者、物理ファンの拡大を図る。特に Jr. セッションの参加者は、大学卒業時まで無料でサポーターとしてのサービスを受けられるなどの制度の検討を続けている。

委員会活動の現状を鑑み、JABEE 委員会の廃止および当該委員会職務の物理教育委員会への委譲を決定した。

男女共同参画推進活動として、1) 国内では男女共同参画学協会連絡会、海外では AAPPs や Gender Summit6 において外部との交流を継続的に進めた。これらの一部は、日物応物連絡会を介して、応用物理学会と連携して行った。2) 物理教育委員会や Jr. セッション委員会など他の委員会とも連携して次世代育成を行った。3) 年次大会におけるシンポジウムを開催して、男女共同参画のみではなく、キャリアパス全体について議論した。

キャリア支援センターと物理人材活用委員会の今後の体制を検討するため、キャリア支援センターの

運営委員を71期から8名に増やした。

#### 9) 社会への物理学情報の発信力強化と学会活動の広報

科学セミナー、公開講座、Jr. セッションなど、これまで行ってきた社会への物理学情報の発信力強化を進めた。

また、会誌への記事掲載、イベントへの参加などを通して、社会に質の高い物理学情報提供に努めた。これらの目的を達するためにHPの抜本的な整備の検討を行った。また、海外の物理研究者向けに英文HPを運用する準備を始めた。

毎年ノーベル物理学賞受賞者発表後に、本会ホームページを訪れる多数の一般市民がいることから、発表直後から理事会で組織的な対応を行い、できるだけ短時間(1日以内)でホームページに学会として分かり易い受賞者と受賞内容を紹介する体制を構築した。これは受賞者の国籍によらず毎年行う予定であるが、2015年は本会の梶田隆章会員が受賞者のお一人であったので情報の伝達が極めて迅速に行われ、同時に本会として同会員に祝意を伝達した。

#### 10) 他学協会・団体との連携の強化

日本学術会議は「分野別の教育課程編成上の参照基準」を策定することを提案し、2010年11月より参照基準策定作業を始めた。物理学分野においては、日本物理学会が素案の策定を依頼され、本会物理教育委員会が2012年の第68期から検討を始めた。その原案は、2015年6月に理事会の承認を経て、日本学術会議へ提出した。

2015年は国際光年(IYL2015)として国内外で多くのイベントが実施されたが、本会は国内の主催団体(日本学術会議総合工学委員会 IGO 分科会)に協賛するパートナー(プラチナ)として参画し、本会大会でのシンポジウムや一般市民向けの科学セミナーや公開講座に「光と物理」に関連するテーマを掲げた。また本学会誌に、関連するシリーズ記事を掲載した。

4月から再発足した日本学術会議「放射線・放射能測定データ・アーカイブズ・ワーキンググループ」に本会として参加し(委員:担当理事、会長・副会長:オブザーバー)、具体的な活動計画を策定中である。

4月に設置された内閣府「オープンサイエンス推進に関するフォローアップ検討会」に会長が委員として参加し、オープンジャーナルのみならずオープンデータに関する議論を行っている。

#### 11) 国際的活動体制の強化

8月にソウル(韓国)で開催されたAAPPS Women in Physics ワークショップとGender Summit 6に、会長と男女共同参画推進委員(担当理事を含む3名)が参加し、本会の活動を紹介するとともに、各国の関係者と特に今後の活動について意見交換した。

協定を結んでいる学協会との関係強化の努力を継続した。本年度は、ポーランド物理学会からの招待により第43回ポーランド物理学会および第10回 Informal Physical Societies Exchange Conference (IPSEC X)に参加し、ヨーロッパ物理学会およびその構成学会(10学協会が参加)との交流を行った。

本会の国際化を図るために不可欠な定款・細則・内規の英訳に取り掛かった。これは2016年4月から稼働予定の会員システムでの外国人会員の入会手続きと連動するものでもあり、同期日からホームページに掲載予定で作業は進行している。

#### 12) その他

・2014年ノーベル物理学賞受賞者の非会員(2名)と2014年文化功労者(会員1名)を、名誉会員として第95回定時総会(3月31日)に推挙し承認された。

・2016年は、本会設立(1946年)から70周年(1877年創立からは139年)の節目に当たることから、比較的小規模な記念事業を行うことになった。そのため、学会誌の特集シリーズ記事掲載、年次大会での学会展示コーナー設置などの企画提案が行われ準備を始めた。

## 2. 各事業詳細資料

### 2-1. 学術講演会の開催・後援等

2-1-1-1. 第70回年次大会	<p>開催領域：素粒子論領域、素粒子実験領域、理論核物理領域、実験核物理領域、宇宙線・宇宙物理領域、ビーム物理領域、領域1～13、物理と社会</p> <p>会期：3月21日（土・祝）～24日（火）</p> <p>会場：早稲田大学 早稲田キャンパス（東京都新宿区西早稲田1-6-1）</p> <p>講演数：4,047件</p> <p>内訳：原著講演3,799件、シンポジウム講演177件、招待・企画・チュートリアル講演24件、日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演45件、総合講演2件）</p> <p>参加登録者数：6,094名</p> <p>内訳 会員：5,775名（一般3,531名、学生2,244名） 非会員：319名（一般112名、学生207名）</p> <p>託児室：8家族10名（延べ19名）</p>
2-1-1-2. 秋季大会	<p><b>【素粒子・素粒子実験・核物理・宇宙線・宇宙物理領域関係大会】</b></p> <p>会期：9月25日（金）～28日（月）</p> <p>会場：大阪市立大学杉本キャンパス（大阪市住吉区杉本3-3-138）</p> <p>講演数：912件</p> <p>内訳：原著講演848件、シンポジウム講演43件、招待・企画講演20件</p> <p>参加登録者数：1,358名</p> <p>内訳：会員：1,300名（一般831名、学生469名）非会員：58名（一般12名、学生46名）</p> <p>託児室：申込なし</p> <p>南部陽一郎先生追悼特別セッション</p> <p>日時：9月26日（土）12:50～13:20</p> <p>会場：基礎教育実験棟1F階段教室</p> <p>座長：柴田利明（副会長）</p> <p>講演題目：南部先生の思い出 30分</p> <p>講演者：江口 徹（立教大）</p> <p>参加者数：約400名</p> <p>* 理事会において本セッションの開催を急遽決定し、実行委員会の協力のもと実施。</p> <p><b>【物性領域関係大会】</b></p> <p>会期：9月16日（水）～19日（土）</p> <p>会場：関西大学千里山キャンパス（吹田市山手町3-3-35）</p> <p>講演数：2,701件</p> <p>内訳：原著講演2,581件、シンポジウム講演103件、招待・企画・チュートリアル講演17件</p> <p>参加登録者数：3,858名</p> <p>内訳：会員：3,666名（一般2,189名、学生・院生1,477名） 非会員：192名（一般37名、学生・院生155名）</p> <p>託児室：3家族3名（延べ6名）</p>
2-1-2. 各種国内会議	154件の国内会議の共催・協賛・後援を行なった。
2-2. 国際交流・協力活動	
2-2-1. 国際会議の共催	会議名：第21回二次元電子系国際会議 第17回半導体超構造国際会議 合同国際会議（EP2DS-21/MSS-17）

	<p>主催 : 第 21 回二次元電子系国際会議／第 17 回半導体超構造国際会議 合同実行委員会  会期 : 2015 年 7 月 26 日 (日) ～7 月 31 日 (金)  場所 : 仙台国際センター  本会代表運営委員 : 勝本信吾 (東大物性研)  参加者数 : 510 名</p> <p>会議名 : 第 25 回相対論的原子核原子核衝突国際会議 (QM2015)  主催 : QM2015 組織委員会  会期 : 2015 年 9 月 27 日 (日) ～10 月 3 日 (土)  場所 : 神戸ファッションマート  本会代表運営委員 : 初田哲男 (理研)  参加者数 : 650 名</p> <p>なお、上記 2 件の国際会議以外に 28 件の国際会議の協賛・後援等を行った。</p>
2-2-2. その他の国際活動	<p>●AAPPS (アジア・太平洋物理学連合) メンバー学会としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AAPPS 委員会の開催 (日本物理学会・応用物理学会合同)</li> <li>・AAPPS 理事会への委員派遣</li> <li>・AAPPS Bulletin 編集委員会への委員派遣</li> <li>・AAPPS Bulletin 編集委員会会議の Web 会議開催の協力</li> <li>・会誌・HP への AAPPS 活動の掲載</li> </ul> <p>● APS March Meeting 2016 ブース出展 (3 月)</p> <p>● 海外からの投稿者への JPSJ 掲載料金援助 (一部)</p>
2-3. 物理学に関する普及・啓発活動	
2-3-1. 科学セミナー	<p>企画名 : 物理学と光 ～光の基礎と最先端研究～  会期 : 8 月 20 日 (木)、21 日 (金)  会場 : 東京大学駒場キャンパス 数理科学研究科棟 大講義室  演題 : 光とは何か?～光の物理学～ 外 9 件  聴講料 : 無料  聴講者数 : 190 名 (8/20)、174 名 (8/21)  ※講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で講演動画を公開した。</p>
2-3-2. 公開講座	<p>【理事会企画】</p> <p>企画名 : 結晶と粒子線回折 — ブラッグ反射 100 年  会期 : 11 月 7 日 (土)  会場 : 東京大学本郷キャンパス小柴ホール  演題 : 生体高分子の X 線結晶構造解析 - 分子構造から生体機能へ - 外 3 件  聴講料 : 無料  聴講者数 : 169 名  ※講師より許可された講演はビデオ撮影し、本会ホームページ上で講演動画を公開した。</p>
2-3-3. 第 11 回 Jr.セッション (主に高校生による講演発表会)	<p>期日 : 3 月 22 日 (日)  場所 : 早稲田大学早稲田キャンパス 国際会議場 井深大記念ホール および会議室 (第 70 回年次大会年次大会会場)  講演発表数 : 77 件  内訳 (口頭発表 : 10 件、ポスター発表 : 67 件)</p>

<p>2-3-4-1. 年次大会市民向け講演会</p>	<p>第70回年次大会（早稲田大学早稲田キャンパス）  期日：3月21日（土・祝）14:00～16:30  場所：早稲田大学早稲田キャンパス 国際会議場 井深大記念ホール  入場料：無料  プログラム：  一般相対性理論100年・国際光年2015「宇宙と時間」  1. 「アインシュタインと宇宙論」佐藤勝彦（大学共同利用機関法人 自然科学研究機構）  2. 「日時計から光格子時計まで」安田 正美（独立行政法人 産業技術総合研究所）  参加者数：約700名</p>
<p>2-3-4-2. 秋季大会市民向け講演会</p>	<p>秋季大会（大阪市立大学）  期日：9月23日（水、祝）15:30～18:30  場所：大阪国際会議場12階特別会議場  プログラム：市民科学講演会  佐川宏行（東京大学宇宙線研究所）「宇宙線：宇宙からやってくるミクロなメッセンジャー」  飯嶋 徹（名古屋大学大学院理学研究科）「素粒子：スーパーBファクトリー加速器で挑む新しい素粒子世界」  藤川和男（東京大学名誉教授）「ヒッグス粒子：真空とは何か、質量はどう生まれたのか」  参加者数：約100名</p> <p>秋季大会（関西大学）  期日：9月20日（日）13:30～15:45  場所：関西大学千里山キャンパス100周年記念会館  プログラム：  石川正司（関西大学化学生命工学部）「蓄電技術によるエネルギー高効率利用社会の幕開け」  吹田 浩（関西大学文学部）「古代エジプト文明の技術」  参加者数：約100名</p>
<p>2-3-5. その他</p>	<p>●物理教育シンポジウム  企画名：なぜ物理学を学ぶのか ー参照基準の策定に向けてー  会期：3月15日（日）  会場：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール  演題：物理系人材の特色とそのキャリアパス 外3件  聴講料：無料  聴講者数：68名</p> <p>●第70回年次大会理事会企画シンポジウム（早稲田大学早稲田キャンパス）  企画名：異分野から見た物理学への期待：「物理学」領域の参照基準（後援：日本学術会議）  会期：3月21日（土）  講演数：6件</p> <p>●第20回日本物理学会論文賞  5編の論文を表彰した。  授賞論文の代表者にはケース入り賞状と賞状の電子ファイルを贈</p>

	<p>呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●第9回日本物理学会若手奨励賞 46名の受賞者を決めた。 授賞者にはケース入り賞状を贈呈した。</li> <li>●自然の不思議－物理教室 共同主催：日本物理教育学会・国立科学博物館 開講日（計6回）：6月6日（土）、6月27日（土）、7月18日（土）、8月1日（土）、8月15日（土）、9月6日（日） 講座名：ストロークレーン！ 外5回 場所：国立科学博物館（上野本館 地球館 3階実験実習室） 対象：小学5年生～中学3年生 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。</li> <li>●世田谷区中学生講座（才能の芽を育てる体験学習：サイエンス・ドリーム） 主催：世田谷区教育委員会（当会は協賛） 開講日（計3回）：10月17日（土）、11月7日（土）、12月5日（土） 講座名：音を閉じ込めてみよう！ 外2回 場所：国立大学法人 電気通信大学 対象：世田谷区立中学校の生徒 ※当会物理教育委員会・委員が講師を務めた。 ※各回の教室の様子や実験の一部を、写真付きで本会ホームページに公開した。</li> <li>●基礎実験講習会（高校物理の授業に役立つ基本実験講習会：東京会場） 主催：物理教育研究会（APEJ）、日本物理学会 共催：日本物理教育学会、応用物理学会 後援：学術図書出版社 会期：7月19日（日）～7月20日（月・祝） 会場：麻布高等学校 実験項目：力学的エネルギーの保存 外9項目 対象：現職の物理（理科）教員、物理（理科）教員を志望する学生 他 ※本会支部（北海道支部、東北支部、新潟支部、大阪支部、九州支部）においても日本物理教育学会、物理教育研究会（APEJ）他との共催等により札幌、仙台、新潟、大阪、福岡で開催した。</li> </ul>
2-4. 本会の目的達成のために重要な活動	
2-4-1. キャリア支援センター	<p>キャリア支援センターのこれまでの活動を報告すると共に物理系人材の可能性について述べる講演を、日本物理学会物理教育委員会が主催した第5回物理教育シンポジウム、および日本物理学会第70回年次大会での物理と社会シンポジウムで行った。 センター主催のキャリア支援イベントとして下記を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●私立中高向け「理系教員選考会」 1月11日（日） お茶の水女子大学 理学部 1月25日（日） 神戸大学 百年記念館</li> </ul> <p>教員志望の物理系人材のために、2014年春からの採用をめざして私立の中高の担当者と理系人材が直接面談する機会を設けた。参加者は</p>

	<p>お茶の水女子大学で約 180 名、神戸大学で約 80 名であった。</p> <p>例年 11 月ごろに行っていた「理工系（物理関連分野）人材のためのキャリアフォーラム」については、就職協定の変化を考慮して 2016 年 1 月（東京）と 2 月（大阪）に開催することとした。</p> <p>2016 年 1 月に「ビッグデータやデータサイエンスに関わる学生/研究者、企業の異分野 異業種交流会」を物理学会共催で実施するので、その準備をした。</p> <p>これらのイベント以外には、Web やメールを通じたキャリア支援関連情報の広報活動を行った。</p>
2-4-2. 協力活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「日本技術者教育認定機構（JABEE）」関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JABEE 物理・応用物理学関連分野における 2015 年度認定継続審査を実施</li> <li>・ JABEE 理事、認定・審査調整委員会、審査事務連絡会、拡大運営委員会の各委員等を派遣</li> </ul> </li> <li>●男女共同参画関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学会誌の「男女共同参画推進委員会だより」で広報活動を実施</li> <li>・ シンポジウム「物理から広がる多様なキャリアパス」（日本物理学会年次大会）開催</li> <li>・ 女子中高生夏の学校 2015 の企画、運営、および参加</li> <li>・ 第 13 回男女共同参画学協会連絡運営委員会とシンポジウム参加</li> <li>・ 日物・応物男女共同参画連絡会覚え書き締結</li> <li>・ AAPPS-WIP workshop2015, Gender summit6（ソウル）4 名参加</li> </ul> </li> <li>●受賞候補等推薦委員会関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度文部科学大臣表彰科学技術賞、第 12 回（平成 27 年度）日本学術振興会賞、第 6 回（平成 27 年度）日本学術振興会育志賞、2015 年度山田科学振興財団研究援助、第 42 回（2014 年度）内藤記念講演助成金（春季）、第 32 回（2015 年度）井上學術賞、第 17 回サー・マーティン・ウッド賞、平成 27 年度島津賞、第 13 回（平成 28 年度）本多フロンティア賞、第 28 回（平成 27 年度）松尾学術研究助成、第 56 回（平成 27 年度）東レ科学技術研究助成、第 21 回（2016 年）日本物理学会論文賞の各賞・助成に候補者・候補論文を推薦</li> </ul> </li> <li>●その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会理事派遣</li> <li>・ 世界工学会議 WECC2015 実行委員会への委員派遣</li> </ul> </li> </ul>
2-4-3. 物理系学術誌刊行センター(PCPAP)	<p>応用物理学会と協同して運営を行った。</p>
2-4-4. 支部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2015 年秋季大会関西大学会場にて支部長懇談会（9 月 18 日）を、本会事務局会議室にて支部長会議（第 1 回：7 月 29 日／第 2 回：11 月 30 日）を開催した。</li> <li>●支部例会、支部特別企画等 <p>次のとおり、各支部において適宜開催した（支部主催事業等、主な事業を記載）。</p> <p>【北海道支部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>…会期：12 月 17 日（木）、会場：北海道大学</li> </ul> </li> <li>・ 北海道支部講演会（計 7 回）</li> </ul> </li> </ul>

…会期：2月20日(金)／4月1日(水)／7月3日(金)／8月5日(水)／9月2日(水)／9月8日(火)／10月13日(火)、会場：北海道大学／室蘭工業大学

・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道

…会期：1月7日(水)、会場：札幌北高等学校、主催：日本物理教育学会北海道支部／日本物理学会北海道支部

#### 【東北支部】

・役員会

…会期：8月27日(木)、会場：東北大学

・出前授業(計12回)

…会期：2月12日(木)／6月12日(金)／9月4日(金)／9月18日(金)／10月20日(火)／10月20日(火)／10月23日(金)／11月5日(木)／11月6日(金)／11月10日(火)／11月13日(金)／12月10日(木)、会場：宮城県仙台第三高等学校／福島県立安積高等学校／岩手県立福岡高等学校／宮城県石巻高等学校／宮城県角田高等学校／青森県立青森高等学校／宮城県古川高等学校／仙台市立青陵中等教育学校／茨城県立水戸第一高等学校／宮城県仙台第二高等学校

・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 仙台

…会期：12月12日(土)、会場：福島県立安積高等学校、主催：日本物理教育学会東北支部、共催：日本物理学会東北支部／物理教育研究会(APEJ)／福島県高等学校教育研究会理科部会県南支部、後援：学術図書出版社

#### 【新潟支部】

・役員会

…会期：12月5日(土)、会場：新潟大学

・新潟支部例会

…会期：12月5日(土)、会場：新潟大学

・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会

…会期：11月22日(日)、会場：新潟大学、主催：物理教育研究会(APEJ)／日本物理学会新潟支部／新潟大学／新しい理科教育を研究する会、後援：日本物理教育学会／学術図書出版社／新潟県高等学校教育研究会理科部会／新潟県理化学協会

#### 【北陸支部】

・役員会(計2回)

…会期：8月1日(土)／11月28日(土)、会場：福井大学／金沢大学

・支部総会

…会期：11月28日(土)、会場：金沢大学

・北陸支部定例学術講演会

…会期：11月28日(土)、会場：金沢大学、主催：日本物理学会北陸支部、協力：金沢大学

・特別講演会(計9回)

…会期：1月27日(火)／2月3日(火)／4月10日(金)／6月22日(月)／7月2日(木)／11月16日(月)／12月8日(火)／12月9日(水)／12月25日(金)、会場：富山大／石川四高記念館／福井大／金沢大学／北陸先端科学技術大学院大学

#### 【名古屋支部】

・中部表面科学シンポジウム

…テーマ：「有機材料表面研究の最近の動向」、会期：1月31日（土）、会場：名城大学、主催：日本表面科学会、後援：応用物理学会東海支部／日本真空学会東海支部／日本物理学会名古屋支部／応用物理学会薄膜・表面物理分科会／応用物理学会有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

**【京都支部】**

・役員会

…会期：7月10日（金）、会場：京都大学

・親子理科実験教室（計12回）

…会期：4月19日（日）／5月17日（日）／6月14日（日）／5月31日（日）／6月21日（日）／7月26日（日）／8月8日（土）／8月9日（日）／8月22日（土）／8月23日（日）／11月1日（日）／12月6日（日）／、会場：京都大学、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部／京都大学理学部

・シンポジウム 科学としての科学教育 実践編 2015

…テーマ：「時をかける科学者…親と子がともに学ぶ」、会期：12月23日（水）、会場：京都大学、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／日本物理学会京都支部／京都大学理学部

・Wolfgang Weiss 博士講演会

…テーマ：「欧米での低線量放射線影響の国家プロジェクト動向について」、会期：5月28日（木）、会場：京都大学、主催：日本学術振興会研究開発専門委員会・先導的研究開発委員会「放射線の影響とクライシスコミュニケーション」／日本物理学会大阪支部／日本物理学会京都支部／知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん

・サロン・ド・科学の探索（第5回）

…テーマ：「パグウォッシュ会議長崎開催によせて」、会期：2月15日（日）、会場：NPO法人あいんしゅたいん事務所、主催：基礎科学研究所（NPO法人 知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん 附置機関）、共催：日本物理学会京都支部

・科学普及員研修会（2015年第2回）

…会期：6月27日（土）、会場：NPO法人あいんしゅたいん事務所、主催：知的人材ネットワーク・あいんしゅたいん／共催：日本物理学会京都支部

**【大阪支部】**

・大阪支部懇談会

…会期：6月17日（日）、会場：大阪大学

・支部講演会（計3回）

…会期：3月30日（月）／10月20日（金）／11月20日（月）、会場：大阪府立大学、大阪市立大学、理化学研究所

・「青少年のための科学の祭典」大阪大会（サイエンスフェスタ2014）

…会期：8月23日（土）・24日（日）、会場：ハービスホール、主催：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会／日本科学技術振興財団・科学技術館／日本物理教育学会近畿支部／大阪市教育委員会／大阪市立科学館／関西サイエンス・フォーラム／読売新聞社／大阪科学振興協会

・第31回湯川記念講演会

…会期：10月11日（日）、場所：大阪大学、演題：「宙の夜明け - ファーストスターと超巨大ブラックホールの謎」外1件、主催：大阪大学総合学術博物館湯川記念室、共催：日本物理学会大阪支部、後援：日本物理教育学会近畿支部

・Wolfgang Weiss 博士講演会

…詳細は京都支部と同内容

・大阪支部公開シンポジウム

…テーマ：「光と物理の過去・現在・未来：国際光年」、会期：12月20日（日）、会場：大阪大学、主催：日本物理学会大阪支部、後援：兵庫県教育委員会／大阪府教育委員会／和歌山県教育委員会／大阪市教育委員会

・高大連携物理教育セミナー

…テーマ：「SEEDS プログラム発足記念「高大接続とAO入試」」、会期：8月3日（月）、会場：大阪大学、主催：大阪大学理学研究科 大阪大学基礎工学研究科、共催：日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部、後援：兵庫県教育委員会／京都府教育委員会、協賛：大阪府高等学校理化教育研究会

・ふしぎと遊ぼう！青少年のための科学の祭典 2015 大阪大会 サイエンスフェスタ

…テーマ：「科学・技術と私たちの暮らし～防災・安全・環境・エネルギー～」、会期：8月22日（土）～23日（日）、会場：梅田・ハービスホール、主催：「青少年のための科学の祭典」大阪大会実行委員会／日本科学技術振興財団・科学技術館／日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部／大阪市教育委員会／大阪市立科学館／関西サイエンス・フォーラム／読売新聞社／大阪科学振興協会、後援：文部科学省他

・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会

…会期：12月20日（日）、会場：兵庫県立御影高等学校、主催：日本物理教育学会近畿支部／日本物理学会大阪支部

#### 【中国支部】

・役員会（メール会議）

…会期：3月16日（月）～3月17日（火）

・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会

…日時：8月1日（土）、会場：徳島大学、主催：応用物理学会中国四国支部／日本物理学会中国支部・四国支部／日本物理教育学会中国四国支部／日本光学会中国四国地区、共催：徳島大学、助成：徳島県観光協会

・第19回物理教育研究会

…日時：2月21日（土）、会場：広島県情報プラザ、主催：広島県物理教育研究推進会、後援：広島県高等学校教育研究会理科学部会物化部／日本理科教育学会中国支部／日本物理学会中国支部／日本物理教育学会中国四国支部／公益社団法人 日本理科教育振興協会

・サイエンスワールド 2015

…日時：10月18日（日）、会場：山口大学、主催：山口大学理学部、協力：山口大学教育学部理科講座、後援：情報処理学会中国支部事務局／電子情報通信学会中国支部／中国四国植物学会／日本物理学会中国支部 他

	<p><b>【四国支部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 …会期：8月1日(土)、会場：徳島大学</li> <li>・応用物理・物理系学会中国四国支部合同学術講演会 …詳細は中国支部と同内容</li> <li>・学術講演会 …会期：12月18日(金)、会場：愛媛大学</li> <li>・第23回かがわけん科学体験フェスティバル …会期：11月15日(土)、会場：香川大学、主催：科学体験フェスティバル実行委員会／香川大学／一般財団法人四国産業・技術振興センター、協賛：日本物理学会四国支部 他</li> <li>・サイエンスカフェ（ノーベル物理学賞 2015 記念） …会期：11月23日(月)、会場：徳島大学、主催：日本物理学会四国支部、後援：徳島新聞社／四国放送／NHK 徳島放送局</li> </ul> <p><b>【九州支部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会（計2回） …会期：4月10日(金)／12月5日(土)、会場：九州大学／九州工業大学</li> <li>・支部例会 …会期：12月5日(土)、会場：九州工業大学</li> <li>・特別講演会 …会期：12月5日(土)、会場：九州工業大学、演題：「より高い転移温度をもつ新超伝導体を求めて」</li> <li>・高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 福岡 …会期：11月23日(月・祝)、会場：西南学院高等学校、主催：福岡県高等学校物理部会／日本物理学会九州支部／日本物理教育学会九州支部、共催：物理教育研究会(APEJ)／科学教育ネットワーク in 福岡／NPO 法人理科カリキュラムを考える会</li> </ul>												
2-4-5. 情報・資料公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図書雑誌および物理学史資料の供覧 必要に応じて実施した。</li> <li>●会誌の寄贈交換：国内、国外</li> </ul>												
2-5. 刊行物（実施事業を含む）													
2-5-1. 日本物理学会誌	<p><b>【公益目的支出計画実施事業】</b> 第70巻第1号～12号を刊行した。A4冊子版、月刊、</p> <table border="1" data-bbox="561 1570 1161 1715"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>1,210</td> <td>101</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>刊行部数</td> <td>202,550</td> <td>16,879</td> <td>17,000</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【特別購読数】</b> 国内：232 国外：3</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	1,210	101	100	刊行部数	202,550	16,879	17,000
	総数	月平均	月予定数										
ページ数	1,210	101	100										
刊行部数	202,550	16,879	17,000										
2-5-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)	<p>Vol. 84 No. 1～No. 12 を刊行した。A4冊子及び電子版。</p> <table border="1" data-bbox="561 1839 1187 1962"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>月平均</th> <th>月予定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ページ数</td> <td>2,637</td> <td>220</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>冊子刊行部数</td> <td>6,080</td> <td>506</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【掲載論文】</b> Letter 81, Full Paper 278, Short Note 20, Addenda 1, Comments</p>		総数	月平均	月予定数	ページ数	2,637	220	266	冊子刊行部数	6,080	506	500
	総数	月平均	月予定数										
ページ数	2,637	220	266										
冊子刊行部数	6,080	506	500										

	<p>&amp; Reply 0, Erratum 3, Invited Paper 3, Special Topics 16</p> <p>【電子版の2015年1月-12月論文総ダウンロード数 323,335】  【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内40%、海外60%  【特別購読数】国内 175 (オンライン版 58、冊子版 117 )  国外 375 (オンライン版 194、冊子版 181 )</p>
2-5-3. PROGRESS OF THEORETICAL AND EXPERIMENTAL PHYSICS (PTEP)	<p>Volume 2015 Issues 1~12 を電子版で発行した。  掲載論文数： Paper 155 Letter 19 Errata 6  特集論文・招待論文 13  【電子版の2015年1月-12月論文総ダウンロード数】 58,950</p>
2-5-4. JPS Conference Proceedings	<p>Vol. 4 Proceedings of the International Symposium “Nanoscience and Quantum Physics 2012” (nanoPHYS’ 12)  e-ISBN: 978-4-89027-107-8、37 論文、CD-ROM 版作成  Vol. 5 Proceedings of Computational Science Workshop 2014 (CSW2014)  e-ISBN: 978-4-89027-108-5、28 論文  Vol. 6 Proceedings of the Conference on Advances in Radioactive Isotope Science (ARIS2014)  e-ISBN: 978-4-89027-110-8、229 論文  Vol. 7 Proceedings of CST-MISC Joint Symposium on Particle Physics – from Spacetime Dynamics to Phenomenology –  e-ISBN: 978-4-89027-111-5、13 論文  Vol. 8 Proceedings of the 2nd International Symposium on Science at J-PARC – Unlocking the Mysteries of Life, Matter and the Universe –  e-ISBN: 978-4-89027-112-2、215 論文</p> <p>【電子版の2015年1月-12月論文総ダウンロード数 35,059】  【電子版ダウンロード、国内外の比率】国内33%、海外67%</p>
2-5-5. 講演概要集	<p>第70回年次大会(第70巻第1号) (全領域掲載)  Web版 2015年3月5日から1年間公開  DVD版 2500部  ※ほかに年次大会のプログラムとして3月増刊号158ページ(本文)17,850部を刊行した。</p> <p>2015年秋季大会(第70巻第2号) (全領域掲載)  Web版 2015年9月1日から1年間公開  DVD版 2000部  ※ほかに秋季大会のプログラムとして8月増刊号144ページ(本文)17,000部を刊行した。</p>
2-5-6. 大学の物理教育 (B5判)	<p>第21巻1号(3月)、2号(7月)、3号(11月)を刊行  各号の刊行部数1,2,3号1,600部  年間総ページ数164ページ</p>

(附属明細1) 処務詳細資料  
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	第 95 回定時総会（3 月 31 日）
3-1-2. 監事会（開催日）	2 月 14 日
3-1-3. 理事会等（開催日）	<p>●理事会 1 月 10 日 2 月 14 日 3 月 13 日 3 月 31 日 4 月 11 日 5 月 16 日 6 月 13 日 7 月 11 日 8 月 8 日 9 月 12 日 10 月 10 日 11 月 14 日 12 月 12 日</p> <p>●会計理事会議 2 月 9 日 4 月 20 日 11 月 2 日</p> <p>●予算編成ワーキンググループ会議 8 月 10 日 11 月 2 日</p> <p>●JPSJ 専任編集委員選考委員会 9 月 12 日</p> <p>●会員システム選定委員会 (2014 年 12 月 22 日) 1 月 10 日 1 月 20 日 1 月 26 日 2 月 6 日</p> <p>●会員システム PT 会議 2 月 25 日 (他、進捗状況報告会等)</p> <p>●会員・会友ワーキンググループ会議 4 月 11 日 11 月 14 日</p> <p>●2016 年科学セミナーワーキンググループ会議 10 月 28 日</p> <p>●学会史展示 TF 会議 11 月 10 日</p>
3-1-4. 委員会等（開催日）	<p>●刊行委員会 2 月 25 日 4 月 28 日 6 月 11 日 8 月 26 日 10 月 20 日</p> <p>●会誌編集委員会 1 月 24 日 2 月 21 日 3 月 28 日 4 月 18 日 5 月 23 日 6 月 20 日 7 月 18 日 8 月 22 日 10 月 3 日 10 月 24 日 11 月 21 日 12 月 19 日</p> <p>●新著紹介小委員会 1 月 28 日 3 月 18 日 5 月 20 日 7 月 22 日 9 月 2 日 11 月 4 日</p> <p>●「物理学 70 の不思議」班長団 8 月 1 日</p> <p>●電子化・契約検討ワーキンググループ会議（会誌） 1 月 20 日 2 月 17 日 3 月 9 日 3 月 19 日 5 月 12 日 9 月 15 日</p> <p>●JPSJ 編集委員会 1 月 16 日 2 月 10 日 3 月 16 日 4 月 15 日 5 月 13 日 6 月 10 日 7 月 15 日 8 月 12 日 9 月 9 日 10 月 14 日 11 月 17 日 12 月 14 日</p> <p>●PTEP 編集委員会 2 月 24 日 5 月 1 日 6 月 30 日 8 月 21 日 11 月 20 日</p> <p>●PTEP 企画委員会 7 月 14 日</p> <p>●受賞候補等推薦委員会 2 月 7 日 7 月 11 日 9 月 12 日</p> <p>●物理教育委員会 2 月 13 日 3 月 15 日 5 月 8 日 6 月 12 日 10 月 9 日 12 月 11 日</p> <p>●大学の物理教育編集委員会 1 月 11 日 2 月 14 日 2 月 28 日 5 月 16 日 6 月 13 日 6 月 27 日 8 月 24 日 9 月 12 日 10 月 10 日 10 月 24 日</p> <p>●男女共同参画推進委員会</p>

	<p>2月28日 6月2日 9月14日</p> <p>●領域委員会</p> <p>5月21日 11月17日</p> <p>●事務局運営委員会</p> <p>2月28日 5月16日 8月5日 10月10日 12月2日 (その他メール審議1回)</p> <p>●AAPS委員会</p> <p>7月14日 12月15日</p> <p>●選挙管理委員会</p> <p>3月9日 7月21日</p> <p>●物理学史資料委員会</p> <p>3月7日 7月25日 12月5日</p> <p>●Jr.セッション委員会</p> <p>2月7日 8月7日</p> <p>●第20回日本物理学会論文賞選考委員会</p> <p>2月12日</p> <p>●広報委員会・HP運営小委員会合同委員会</p> <p>5月26日、10月27日</p> <p>●HP運営小委員会</p> <p>2月14日</p> <p>●研究費配分に関する教育研究環境検討委員会</p> <p>3月23日</p> <p>●JABEE委員会</p> <p>12月11日</p>
--	--

契約・入札・他に関する事項

● 主な新規契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類等	期間等
2015/7/21	応用物理学会	業務委託	2015/1/1/～2015/12/31
2015/2/9	(有) ミューリサーチ	JPSJの掲載予定 論文原稿の英文校 閲業務	2015/4/1～2017/3/31 (納入期間)
2015/3/13 2015/4/13	(株) マクスラシステムズ	コンサルティング 業務請負契約等	2015/3/9～2015/11/30 2015/4/3～2016/3/31
2015/4/1	(株) 講談社	デジタル的利用お よび著作権設定契 約	2015/4/1～2020/3/31
2015/4/13	(株) ノブワークス・アヘッド	システム開発委託 契約等	2015/4/13～2016/3/31
2015/5/28	トムソン・ロイター・プロフ ェSSIONナル (株)	Citation Notice Service	2015/6～2016/3 配信分
2015/5/13	China Academic Journals (CD Edition) Electronic Publishing House Co., Ltd	A&I Metadata Feed License Agreement	2015/5/13～2015/12/31
2015/9/15	(株) 国際文献社	日本物理学会誌の	2016年1月号～2020年12月号まで

		組版・印刷・製本・電子版製作	の出版分
2015/9/30	国立研究開発法人 科学技術振興機構	オンライン学術用語集（物理学編）用語データの科学技術情報サービス等への利用	2015/10/1～2016/3/31

● 入札に関する事項

- ・日本物理学会誌の組版・印刷・製本・電子版製作  
 公示日 2015年5月15日 説明会 2015年5月28日 応札締切日 2015年6月19日
- ・会員システムの構築 一式（公示日 2014年11月11日 説明会 2014年11月19日）  
 応札締切日 2015年1月9日

● 許可、認可および承認に関する事項（なし）

● その他の事項

- ・第71～72期代議員選挙（信任投票）を行った。

（附属明細2）会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2014年12月31日現在	2015年12月31日現在	
正会員	16,168 <sup>1)</sup> (内：大学院生数 2,535)	16,066 <sup>2)</sup> (内：大学院生数 2,590)	-102 (内大学院生数+55)
学部学生会員	195	175	-20
賛助会員	94(214口)	91(209口)	-3(-5口)
計	16,457	16,332	-125

1) うち名誉会員 17、シニア会員 677。

2) うち名誉会員 19、シニア会員 637。

（附属明細3）事務局の現況（2015年12月31日現在）

職員15名は事務局と物理学系学術誌刊行センターに分かれており、派遣職員等を含む人員配置の内訳は以下の通りである。

事務局	職員13名 アルバイト1名 派遣職員3名
刊行センター	職員2名 派遣職員2名 JPSJ専任編集長1名 JPSJ専任編集委員1名 PTEP専任編集長1名

一般社団法人 日本物理学会  
2015 年事業報告附属明細書  
(2015 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

・記載すべき事項 特に無し